

中古消防車援助事業報告書

平成 18～19 年度

ベトナム社会主義共和国 ベトナム公安省



ベトナム 屋根の上の飾り

平成 20 年 7 月

社団法人 日本外交協会

1. 本事業の趣旨

日本において、救急自動車・消防自動車・塵芥収集車といった特殊自動車は、自治体の管理下で所有・利用され、一定期間の後に廃棄される。ただし、処分直前までは予備車として、各消防本部や各自治体にて整備された状態で保管されているのが通常である。日本国内で使用し続けることが困難になった中古車両でも、使用中の保管・整備が徹底されているため状態は良く、このような車両が不足している開発途上国からは、ぜひ使用したいという要請が多い。

社団法人日本外交協会では、各自治体やその消防本部に対して、車両廃棄予定を調査の上、要請条件に合うものを譲渡していただけるよう、協力を依頼している。譲渡を受けた車両は、引き取り、整備・修理、輸送の手配等を日本外交協会の責任において行い、要請のあった途上国に送り届けることになる。多くは、外務省と協議しながら、政府開発援助（ODA）の中の「草の根・人間の安全保障無償資金協力」を利用し、その後5年間程度は使用してもらえるような状態で現地へ搬送している。また、ODA以外にも現地側で予算を確保でき、なおかつ管理運営能力があると判断できる団体・機関等への寄贈も行っている。

2. 要請団体

ベトナム社会主義共和国 公安省消防局

3. 供出団体と譲与車両（以下、順不同）

第1便（20台）

	供出団体	車種名	メーカー	車体番号	製造年
1	野田市消防本部	水槽付 ポンプ車	日野	FD3HGA11631	1991年
2	旭市消防本部		日野	FD3HEA10438	1991年
3	厚木市消防本部		ニッサン ディーゼル	CL87EE00034	1991年
4	流山市消防本部 (野口ポンプ)		いすゞ	FRR32FB3002089	1992年
5	佐倉市八街市酒々 井町消防組合消防 本部		いすゞ	FRR32DB3005576	1991年
6	稲敷地方広域市町 村圏事務組合消防 本部		いすゞ	FRR12FA-3600025	1987年
7	佐倉市八街市酒々 井町消防組合消防 本部	ポンプ車	いすゞ	NKR58E7218991	1991年

8	佐倉市八街市酒々井町消防組合消防本部		いすゞ	NKR58E7179596	1990年
9	四街道市消防本部		いすゞ	NKR58E-7225240	1991年
10	八千代市消防本部	ポンプ車	いすゞ	NKR58E-7211340	1991年
11	清瀬市		いすゞ	NKR58E7219387	1991年
12	栗原市消防本部		トヨタ	FJ750093217	1991年
13	江南市消防本部		ニッサン	FGY60000893	1990年
14	岩倉市消防本部		ニッサン	FGY60000878	1990年
15	生駒市消防本部		ニッサン	FGY60-000877	1990年
16	成田市消防本部		ニッサン	FGY60000847	1989年
17	成田市消防本部		ニッサン	FGY60000849	1989年
18	比企広域消防本部	水槽車	日野	FG193B-20026	1987年
19	江南市消防本部	救助工作車	日野	GD3HGA10165	1991年
20	江南市消防本部	資機材搬送車	ニッサン	G4H41011251	1994年

第2便（15台）

	供出団体	車種名	メーカー	車体番号	製造年
1	さいたま市消防局	水槽付ポンプ車	ニッサンディーゼル	CM87EE-41885	1992年
2	さいたま市消防局		日野	FD3HEA10359	1992年
3	さいたま市消防局		日野	FD3HEA10365	1992年
4	さいたま市消防局		日野	FD3HEA10370	1991年
5	神奈川県		日野	GD3HJA10225	1991年
6	比企広域消防本部		ニッサンディーゼル	CM87E-11177	1988年
7	さいたま市消防局	ポンプ車	三菱	FE337B440555	1991年
8	新座市		いすゞ	NKR58E7211509	1991年
9	新座市		いすゞ	NKR58E7178891	1990年
10	新座市		いすゞ	NKR58E7207453	1990年
11	狭山市消防本部		いすゞ	NKR58E7194725	1990年
12	春日部市消防本部		いすゞ	NKR58E-7157714	1990年
13	伊奈町消防本部		いすゞ	NKR58E-7177629	1990年
14	門前ロータリークラブ		三菱	FG335C520168	1988年
15	ひたちなか市	救助工作車	いすゞ	SMR461-1974706	1984年

4. 実施の経緯

<要請の背景>

近年、ベトナム社会主義共和国はBRICs(ブラジル、ロシア、インド、中国)の次に経済発展が期待される国として挙げられ注目されている。政府は経済

発展を急ぐと共に、市民生活の向上のため基礎インフラの整備、公共サービス等の充足に努めている。首都ハノイ市をはじめとする主要都市では年々火災発件数が増加しており、迅速で的確な消火活動を行うことのできる体制を整えるため消防車の増強が必要とされた。

2004年、ODAの草の根・人間の安全保障無償資金援助を通じ、ハノイ市に対して消防車7台を寄贈した。当時訪日したベトナム公安省・調査団が他の車両にも強い関心を示し、当協会の駐車場に置いてある車両を確認後、要請を受けた。2006年3月、20台の消防車を寄贈後ハンドル付替えを行い、同年11月、当協会の海外援助事業担当課長の寺田を契約完了確認のためベトナムへ派遣した。

引き続き次年度の調達に関する協議を開始し、2007年には計35台を寄贈することが決定した。3月には専務理事の池浦泰宏が現地に赴き、消防局長との間で事業実施の合意書に署名した。

<輸送と整備について>

車両は日本の国内で整備した上で輸出している。内部の装備点検、必要な部品の交換、外装塗り直しに加え、車両の前面には、日本の援助として送ったことを示す日本の国旗を貼付した。ベトナムでは中古車両の輸入に際して非常に厳しい条件が課せられており、日本からの輸出前に指定機関による検査も行った。また、ベトナムでは車両は右側通行のため現地にて車両のハンドルの付替えが行われた。

<契約完了確認について>

車両全35台が現地に到着した後、ベトナム公安省側の要請によりこれまでの手続きの完了確認をするために、当協会の海外援助事業担当課長の寺田を派遣し、引渡しを行った。

5. 要請から実施までの流れ

平成18年	11月～	車両の選定・調整、輸送費見積り調査等、相互協議
	12月	公安省の独自予算で35台追加調達する方針を決定
平成19年	3月	公安省と日本外交協会の間で、車両譲渡に関する合意文書に署名
	4月	第一便の整備、輸出前検査
	5月30日	第一便 横浜港より出港 (20台)
	6月8日	第一便 ハイフォン港へ到着 (20台)
	8月10日	第二便 横浜港より出港 (14台)
	8月17日	第二便 ハイフォン港へ到着 (14台)
	9月3日	第三便 横浜港より出港 (大型1台)

9月15日	第三便 ハイフォン港へ到着 (大型1台)
	ハンドル付替工事
11月27日～ 31日	契約完了確認 (車両配備の確認等)、引渡し

— 別添資料 —

- ・ 【地図】ベトナム社会主義共和国
- ・ ベトナム社会主義共和国 基本情報
- ・ ベトナム公安省からの受領書(写し) 英語・和訳
- ・ 写真:現地の消防隊と車両など

【地図】ベトナム社会主義共和国



ベトナム社会主義共和国 基本情報

(出典:外務省)

面積	329,241 km ²
人口	約 8,520 万人(2007 年) 人口増加率:1.3%(対前年比)
首都	ハノイ
人種	キン族(越人)約 86%、他に 53 の少数民族
言語	ベトナム語
宗教	仏教(80%)、カトリック、カオダイ教他
主要産業	農林水産業、鉱業、軽工業
GDP	716 億米ドル(約 8 兆円)(2007 年 越統計総局速報)
一人当たり GDP	809 米ドル(2007 年 IMF 推定値)
我が国の援助実績	1992 年 11 月以降経済協力再開。日本はベトナムにとって最大の援助国。2007 年度の援助供与予定額は、円借款、無償資金協力、技術協力合わせて総額約 1,053 億円。
主要援助国 (2006 年、DAC)	(1)日本 (2)フランス (3)ドイツ (4)イギリス (5)デンマーク

引渡式・表彰式写真

本プロジェクトでは、日本からの消防車35台を、ベトナム社会主義共和国公安省消防局へお贈りしました。各車両は日本の自治体から無償で提供いただき、その整備・輸送にかかる費用は、公安省が自助努力で負担し、双方向の協力プログラムとなっています。

平成19年11月に現地へ当協会海外援助事業担当課長の寺田を派遣し、現地での車両および手続き完了の確認をしました。

1	<p>公安省消防局にて引渡し確認</p> <p>左よりドー・バン・ソン副局長、ブイ・ヴァン・ガン局長、日本外交協会課長寺田</p>	
2	<p>過去に寄贈した車両の前で記念撮影</p> <p>タイ・ビン (Thai Binh) 消防本部にて。大切に利用されている</p>	

<p>3</p>	<p>消防活動を終えて消防本部に戻ってきた車</p>	
<p>4</p>	<p>タイ・ビン消防本部の方々と 首都ハノイより南へ約100km、工業団地内にあり、拡大のため改築されたばかり</p>	
<p>5</p>	<p>ナム・ディン（Nam Dinh）消防本部にて会議 町なかで利用しやすいような日本のポンプ車が欲しいという要望があった</p>	

<p>6</p>	<p>ナム・ディン (Nam Dinh) 消防本部の方々と</p>	
<p>7</p>	<p>ニン・ビン (Ninh Binh) 消防本部にて 2006年に寄贈したポンプ車の前で</p>	
<p>8</p>	<p>ハノイ郊外にある公安省倉庫にて、配備を待つ車両</p>	

<p>9 新しく追加で購入した 装備品</p> <p>ホース（20m）吸水管 （10m）管鎗</p>	
<p>10 消防本部や公安省倉庫 にて</p> <p>現地にある車両の状態を確 認する。ハンドルは左側に 付替えられている</p>	

<p>11</p>	<p>ハノイ市内、ハンドル 付替工事をを行う整備工 場にて</p>	
<p>12</p>	<p>現地整備工場の様子</p>	

ベトナムへの寄贈車両写真集

本プロジェクトでは、日本からの中古消防車計35台を、ベトナム公安省へお贈りいたしました。各車両は日本の自治体から無償で提供いただき、その整備・輸送にかかる費用は、ベトナム政府公安省の予算にて行われました。

第1便(20台)

供出自治体：佐倉市八街市酒々井町消防組合消防本部（3台）



供出自治体：江南市消防本部（3台）



供出自治体：成田市消防本部（2台）



供出自治体：野田市消防本部



供出自治体：厚木市消防本部



供出自治体：生駒市消防本部



供出自治体：岩倉市消防本部



供出自治体：旭市消防本部



供出自治体：流山市消防本部
(野口ポンプ)



供出自治体：
稲敷地方広域 市町村圏事
務組合消防本部



供出自治体：四街道市消防本部



供出自治体：八千代市消防本部



供出自治体：清瀬市



供出自治体：比企広域消防本部



供出自治体：栗原市消防本部



第2便(15台)

供出自治体：さいたま市消防局（5台）



供出自治体：新座市（3台）



供出自治体：神奈川県



供出自治体：比企広域消防本部



供出自治体：狭山市消防本部



供出自治体：伊奈町消防本部



供出自治体：春日部市消防本部



供出団体：門前ロータリークラブ
(奥能登広域圏事務組合輪島消防署門前分署)



供出自治体：ひたちなか市

